

東北楽天ゴールデンイーグルスの経済波及効果について

1 概要

2024 シーズン終了による観客数の確定を受け、アンケート調査や楽天野球団からのヒアリングを基に、東北楽天ゴールデンイーグルス一軍ホームゲームの開催が宮城県内にもたらした経済波及効果を推計した。

推計に当たっては、観客動員実績のほか、県が行ったアンケート調査結果から観客一人当たりの消費額を算出し、宮城県経済波及効果分析ツール（観光消費分析）を用いて試算した。

このうち、アンケートは、楽天モバイルパーク宮城において開催された一軍のホームゲーム（66試合）の公式観客数 1,553,915 人（楽天野球団調べ）のうち、9 月 14 日に開催された北海道日本ハムファイターズ戦の観客に対して実施した（有効回答 1,200 件、全 2,731 人のデータを収集）。

この結果、ホームゲーム開催による観客の入場料、交通費、飲食費やグッズ購入費などに伴う直接効果が約 152 億円、直接効果から生じる各産業への波及効果（1 次、2 次）が約 72 億円、合わせて約 224 億円の経済波及効果と推計した（ただし、いずれも計算モデルに基づく推計値であることに注意が必要。）。

なお、レギュラーシーズンで比較すると、前回推計を行った 2023 シーズンより約 46 億円の増加となった。これは、観客動員数の増加が主な要因と考えられる。

2 観客一人当たりの県内消費額（平均額）

区分		入場料等	交通費	飲食費	宿泊費	グッズ購入費	計
宿泊 旅行	県内在住	3,703 円	3,524 円	2,304 円	7,117 円	4,500 円	21,148 円
	県外在住	3,703 円	4,617 円	3,133 円	10,069 円	2,728 円	24,250 円
日帰 り 旅行	県内在住	3,703 円	490 円	1,908 円		1,117 円	7,218 円
	県外在住	3,703 円	2,139 円	2,160 円		1,822 円	9,824 円

入場料等については楽天野球団調べ。その他は宮城県アンケート調査結果

3 昨シーズンとの比較

区 分		2024 シーズン	2023 シーズン	増減（増減率）
前 提 条 件	試合数	66 試合	69 試合	- 3 試合 (- 4.3%)
	年間観客数	1,553,915 人	1,292,028 人	+ 261,887 人 (+ 20.3%)
	一試合平均観客数	23,554 人	18,725 人	+ 4,829 人 (+ 25.8%)
	観客一人当たりの 県内消費額(日帰り客)	7,718 円	6,752 円	+ 966 円 (+ 14.3%)
経済波及効果 A+B		224 億円 〔一試合当たり〕 3.4 億円	178 億円 〔一試合当たり〕 2.6 億円	+ 46 億円 (+ 25.8%)
直接効果 A		152 億円	120 億円	+ 32 億円 (+ 26.6%)
1 次・2 次波及効果 B		72 億円	57 億円	+ 15 億円 (+ 26.3%)
誘発される雇用者数		2,412 人	1,901 人	+ 511 人 (+ 26.9%)

(参考) 経済波及効果の年次推移

区分		2024 シーズン	2023 シーズン	2020～22 コロナにより 実施せず	2019 シーズン	2018 シーズン	2017 シーズン	2016 シーズン	2015 シーズン	2014 シーズン
前提条件	試合数	66試合	69試合		66試合	69試合	66試合	67試合	66試合	67試合
	年間観客数	1,553,915人	1,292,028人		1,732,526人	1,658,347人	1,669,709人	1,517,680人	1,413,517人	1,350,293人
	一試合平均 観客数	23,554人	18,725人		26,250人	24,034人	25,299人	22,652人	21,417人	20,153人
	一人当たりの 消費額 (日帰り客)	7,718円	6,752円		7,830円	7,378円	7,243円	7,467円	8,015円	9,060円
観客消費 経済波及効果 A+B		224億円 〔一試合当たり 3.4億円〕	178億円 〔一試合当たり 2.6億円〕		237億円 〔一試合当たり 3.6億円〕	217億円 〔一試合当たり 3.1億円〕	225億円 〔一試合当たり 3.4億円〕	213億円 〔一試合当たり 3.2億円〕	206億円 〔一試合当たり 3.1億円〕	212億円 〔一試合当たり 3.2億円〕
直接効果 A		152億円	120億円		152億円	138億円	139億円	129億円	127億円	132億円
1次・2次 波及効果 B		72億円	57億円		85億円	79億円	86億円	84億円	79億円	80億円
誘発される 雇用者数		2,412人	1,901人		2,388人	2,169人	2,230人	2,006人	1,942人	1,997人

区分		2013 シーズン	2013 CS	2013 日本シリーズ	2012 シーズン	2011 シーズン	2010 シーズン	2009 シーズン	2009 CS	2008 シーズン
前提条件	試合数	67試合	4試合	4試合	68試合	63試合	68試合	70試合	2試合	70試合
	年間観客数	1,184,981人	97,089人	100,948人	1,102,688人	1,001,648人	1,067,334人	1,179,770人	42,691人	1,131,173人
	一試合平均 観客数	17,686人	24,272人	25,237人	16,216人	15,899人	15,696人	16,854人	21,346人	16,160人
	一人当たりの 消費額 (日帰り客)	8,975円	11,258円	14,095円	7,531円	7,069円	7,615円	7,277円	8,328円	6,302円
観客消費 経済波及効果 A+B		187億円 〔一試合当たり 2.8億円〕	18.9億円 〔一試合当たり 4.7億円〕	24.4億円 〔一試合当たり 6.1億円〕	145億円 〔一試合当たり 2.1億円〕	124億円 〔一試合当たり 2.0億円〕	138億円 〔一試合当たり 2.0億円〕	155億円 〔一試合当たり 2.2億円〕	6.5億円 〔一試合当たり 3.25億円〕	125億円 〔一試合当たり 1.8億円〕
直接効果 A		115億円	11.7億円	15.0億円	89億円	76億円	86億円	93億円	3.9億円	75億円
1次・2次 波及効果 B		72億円	7.2億円	9.4億円	56億円	48億円	52億円	62億円	2.6億円	50億円
誘発される 雇用者数		1,769人	183人	234人	1,392人	1,225人	1,363人	1,427人	60人	1,115人

区分		2007 シーズン	2006 シーズン	2005 シーズン
前提条件	試合数	71試合	62試合	64試合
	年間観客数	1,123,657人	905,820人	939,566人
	一試合平均 観客数	15,826人	14,610人	14,681人
	一人当たりの 消費額 (日帰り客)	6,617円	6,100円	6,911円
観客消費 経済波及効果 A+B		129億円 〔一試合当たり 1.8億円〕	97億円 〔一試合当たり 1.6億円〕	121億円 〔一試合当たり 1.9億円〕
直接効果 A		78億円	59億円	73億円
1次・2次 波及効果 B		51億円	38億円	48億円
誘発される 雇用者数		1,174人	876人	1,129人